



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 東京急行電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9005 URL <http://www.tokyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 野本 弘文

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計部 主計課長 (氏名) 常見 直明

TEL 03-3477-6168

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	252,683	△13.0	18,409	△17.5	20,940	△1.5	14,783	39.6
23年3月期第1四半期	290,479	△2.5	22,322	94.3	21,262	143.5	10,591	253.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 15,395百万円 (57.8%) 23年3月期第1四半期 9,757百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.81	—
23年3月期第1四半期	8.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,977,526	424,723	20.8
23年3月期	1,955,077	416,565	20.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 411,338百万円 23年3月期 402,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	527,800	△10.7	29,500	△28.6	27,900	△29.6	15,500	△24.5	12.39
通期	1,085,000	△5.8	48,000	△16.0	43,000	△18.7	27,000	△32.6	21.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	1,263,525,752 株	23年3月期	1,263,525,752 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	11,903,466 株	23年3月期	12,632,494 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,251,351,167 株	23年3月期1Q	1,248,725,377 株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。
24年3月期第1四半期:7,750,000株 23年3月期第1四半期:10,595,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2012年3月期 第1四半期 決算概況資料」は、本日(平成23年8月10日)、弊社ホームページに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	116,300	△26.0	24,200	△27.0	20,400	△32.0	12,000	△41.6	9.58
通期	244,800	△11.0	37,000	△18.1	28,700	△23.4	20,000	△53.7	15.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

○同日開示資料

2012年3月期 第1四半期 決算概況資料

(注) 従来、決算短信に「補足情報(参考)」として掲載しておりました各種情報は、上記資料に織り込まれております。なお、上記資料は、本日(平成23年8月10日)、弊社ホームページに掲載するとともに、T D n e t で開示しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社（連結子会社を含む）は、将来の持続的成長に必要な収支構造の変革等を着実に図りながら、引き続き積極的な営業活動と経費節減に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、東日本大震災の影響などにより全ての事業で減収となったほか、不動産事業において、前年度に好調であった大型集合住宅（マンション）販売の反動減もあり、2,526億8千3百万円（前年同期比13.0%減）、営業利益は、184億9百万円（同17.5%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益を計上したことなどにより、209億4千万円（同1.5%減）となりました。四半期純利益は、前年度に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額などの多額の特別損失の計上がないことから、147億8千3百万円（同39.6%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

① 交通事業

交通事業では、当社の鉄軌道業において、当第1四半期連結累計期間における輸送人員は、二子玉川ライズ・ショッピングセンターや、たまプラーザテラスの開業効果があったものの、東日本大震災の影響や節電対応による臨時ダイヤの影響などにより、定期では0.6%、定期外で3.1%減少し、全体でも1.6%の減少となりました。

東日本大震災の影響により、鉄道業の伊豆急行㈱やバス業の東急バス㈱において輸送人員が減少したこともあり、営業収益は453億7千2百万円（同3.6%減）、営業利益は92億4千2百万円（同3.2%減）となりました。

（当社の鉄軌道業の営業成績）

種別	単位	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
		22.4.1～22.6.30	23.4.1～23.6.30
営業日数	日	91	91
営業キロ程	キロ	104.9	104.9
客車走行キロ	千キロ	34,508	31,320
輸送人員	定期外	千人	111,215
	定期	千人	164,575
	計	千人	275,790
旅客運輸収入	定期外	百万円	18,136
	定期	百万円	14,721
	計	百万円	32,857
運輸雑収	百万円	4,285	4,004
収入合計	百万円	37,142	36,174
一日平均旅客運輸収入	百万円	361	354
乗車効率	%	53.3	57.7

（注）乗車効率の算出方法

$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

② 不動産事業

不動産事業では、当社の不動産販売業における、前年度に好調であった当社沿線における大型集合住宅（マンション）販売の反動減などにより、営業収益は315億8千1百万円（同36.1%減）、営業利益は83億3千6百万円（同17.7%減）となりました。

③ リテール事業

リテール事業では、東日本大震災に伴う営業中止や営業時間の短縮などにより、営業収益は1,155億2千7百万円（同7.7%減）となったものの、開業費や人件費などを始めとする費用の削減などにより、営業利益は24億1千8百万円（同38.6%増）となりました。

④ レジャー・サービス事業

レジャー・サービス事業では、広告業の(株)東急エージェンシーにおいて、東日本大震災の影響に伴い、各種広告、イベントなどの売上が減少したことなどにより、営業収益は351億5千7百万円(同5.6%減)、営業利益は7億3千3百万円(同13.9%減)となりました。

⑤ ホテル事業

ホテル事業では、(株)東急ホテルズにおいて、東日本大震災の影響による外国人客の大幅な減少や、自粛ムードによる大型宴席の減少などにより、営業収益は167億1百万円(同17.5%減)、営業損失は20億7千万円(前年同期は3億3千8百万円の営業損失)となりました。

⑥ その他事業

その他事業では、鉄道車両関連事業の東急車輛製造(株)において、鉄道車両の売上げが減少したことなどにより、営業収益は241億5千9百万円(同13.2%減)、営業損失は2億6千9百万円(前年同期は2億9千4百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、繰延税金資産の減少などがあったものの、主に当社の設備投資により有形固定資産が増加したことなどにより、前期末から224億4千8百万円増加の1兆9,775億2千6百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、仕入債務の支払いによる減少などがあったものの、有利子負債(※)が、前期末から265億2百万円増加の1兆678億4千8百万円となり、負債合計では前期末から142億9千万円増加の1兆5,528億3百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、剰余金の配当や持分法の適用範囲の変更による利益剰余金の減少などがあったものの、四半期純利益を計上したことなどにより、前期末から81億5千8百万円増加の4,247億2千3百万円となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債の合計

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間において、営業収益5,278億円(前回予想比3.3%増)、営業利益295億円(同96.7%増)、経常利益279億円(同114.6%増)、当期純利益155億円(同121.4%増)、通期において、営業収益1兆850億円(前回予想比1.0%増)、営業利益480億円(同29.7%増)、経常利益430億円(同34.4%増)、当期純利益270億円(同35.0%増)と、平成23年5月13日に公表しました業績予想からそれぞれ変更しております。

詳細につきましては、本日(平成23年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,987	29,776
受取手形及び売掛金	105,026	105,812
商品及び製品	17,664	19,168
分譲土地建物	51,338	50,800
仕掛品	23,639	28,172
原材料及び貯蔵品	6,935	7,360
繰延税金資産	15,231	11,273
その他	28,015	30,243
貸倒引当金	△995	△1,027
流動資産合計	276,842	281,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	640,237	632,972
機械装置及び運搬具 (純額)	56,745	55,696
土地	561,762	562,005
建設仮勘定	132,338	161,866
その他 (純額)	19,623	19,535
有形固定資産合計	1,410,707	1,432,075
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	101,279	101,160
繰延税金資産	28,990	29,434
その他	113,417	109,763
貸倒引当金	△1,937	△1,966
投資その他の資産合計	241,749	238,392
固定資産合計	1,678,234	1,695,945
資産合計	1,955,077	1,977,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,208	85,707
短期借入金	262,919	303,550
1年内償還予定の社債	21,000	6,000
未払法人税等	3,362	1,700
引当金	15,826	11,299
前受金	35,858	37,890
その他	103,634	102,652
流動負債合計	535,810	548,801
固定負債		
社債	236,800	246,800
長期借入金	520,625	511,497
退職給付引当金	31,748	31,671
その他の引当金	3,270	3,183
長期預り保証金	110,522	111,039
繰延税金負債	28,782	29,252
再評価に係る繰延税金負債	11,243	11,243
負ののれん	9,433	8,639
その他	27,615	27,853
固定負債合計	980,042	981,181
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	22,659	22,819
特別法上の準備金合計	22,659	22,819
負債合計	1,538,512	1,552,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	140,647	140,599
利益剰余金	144,901	152,322
自己株式	△5,709	△5,393
株主資本合計	401,564	409,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,255	△2,224
繰延ヘッジ損益	△15	△12
土地再評価差額金	8,462	8,461
為替換算調整勘定	△4,912	△4,138
その他の包括利益累計額合計	1,278	2,085
少数株主持分	13,721	13,384
純資産合計	416,565	424,723
負債純資産合計	1,955,077	1,977,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	290,479	252,683
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	217,268	187,336
販売費及び一般管理費	50,888	46,937
営業費合計	268,157	234,274
営業利益	22,322	18,409
営業外収益		
受取利息	60	94
受取配当金	468	588
負ののれん償却額	864	864
持分法による投資利益	868	3,786
その他	1,744	1,674
営業外収益合計	4,006	7,007
営業外費用		
支払利息	4,122	3,876
その他	942	599
営業外費用合計	5,065	4,476
経常利益	21,262	20,940
特別利益		
工事負担金等受入額	872	210
特定都市鉄道整備準備金取崩額	473	473
その他	414	133
特別利益合計	1,759	817
特別損失		
工事負担金等圧縮額	514	151
特定都市鉄道整備準備金繰入額	647	633
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,222	—
災害による損失	—	301
その他	1,474	195
特別損失合計	5,859	1,282
税金等調整前四半期純利益	17,163	20,475
法人税等	6,383	5,478
少数株主損益調整前四半期純利益	10,780	14,997
少数株主利益	188	214
四半期純利益	10,591	14,783

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,780	14,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,248	138
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	249	312
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△53
その他の包括利益合計	△1,023	398
四半期包括利益	9,757	15,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,583	15,177
少数株主に係る四半期包括利益	174	218

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通事業	不動産事業	リテール 事業	レジャー・ サービス 事業	ホテル事業	その他事業			
営業収益									
外部顧客への営業収益	46,878	43,340	124,530	33,637	20,099	21,991	290,479	—	290,479
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	184	6,117	662	3,612	134	5,851	16,563	△16,563	—
計	47,063	49,457	125,192	37,250	20,234	27,843	307,042	△16,563	290,479
セグメント利益又は損失(△)	9,549	10,132	1,744	852	△338	294	22,236	85	22,322

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額85百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通事業	不動産事業	リテール 事業	レジャー・ サービス 事業	ホテル事業	その他事業			
営業収益									
外部顧客への営業収益	45,219	25,045	114,838	31,330	16,601	19,649	252,683	—	252,683
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	152	6,536	689	3,826	100	4,510	15,815	△15,815	—
計	45,372	31,581	115,527	35,157	16,701	24,159	268,499	△15,815	252,683
セグメント利益又は損失(△)	9,242	8,336	2,418	733	△2,070	△269	18,389	19	18,409

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結累計期間において、当社が保有株式の一部を売却したことにより、持分法適用関連会社であったシロキ工業株を持分法適用の範囲から除外しております。この結果、第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が29億7千8百万円減少しております。

○同日開示資料

2012年3月期 第1四半期 決算概況資料

従来、「補足情報(参考)」として掲載しておりました各種情報は、上記資料に織り込まれております。なお、上記資料は、本日(平成23年8月10日)、弊社ホームページに掲載するとともに、T D n e t で開示しております。